

徳島県「小4～6年生」の 保護者向け家庭教育セミナー

～中学校生活に向けた「家庭での時間割」の作り方～

一般参加可

どなたでも参加できます

基礎学力についての話もあります。

未就学・低学年の保護者様、おじいさま、おばあさまもご参加ください。

家庭内において、小学校高学年で身に付けていただきたい項目を具体的にお伝えします。その時々のお子様への接し方を実体験を交え、楽しく具体的に説明いたします。

1部 10:30 徳島県教育委員会講演

「これからの学校の授業はどう変わっていくの?」

徳島県教育委員会の先生が、学校の授業について分かりやすく説明します。

2部 11:00 家庭教育プロデューサー 酒井勇介氏講演

「親はどうすればいいの?何ができるの?」

全国で大人気の家庭教育のプロが、家庭で高学年のお子様と向き合う秘訣を教えます。

家庭教育プロデューサー
講師 **酒井 勇介 氏**

プロフィール

早稲田大学教育学部卒。1986年に学研に入社。乳幼児・児童教育の商品企画開発に携わる。現在は独立し、全国で家庭教育論などの講演会や研究会を1700回以上実施。著書に「1日15分!賢い子に育てる家庭のルール」(学研ネクスト)など。現在フリーの家庭教育プロデューサー。



阿南会場 定員 300名

阿南市立情報文化センター

6/5日

応募
締切日
5/25(水)
必着

阿波会場 定員 300名

アエルワ(阿波市庁舎併設)

6/6月

応募
締切日
5/25(水)
必着

板野会場 定員 300名

徳島県立総合教育センター

7/6水

応募
締切日
6/27(月)
必着

徳島会場 定員 800名

あわぎんホール

7/7木

応募
締切日
6/27(月)
必着

4会場とも〈開場〉10:00 〈開演〉10:30 〈終演〉13:00(予定) ※各会場、定員になり次第締め切らせていただきます。

後援/徳島市教育委員会・阿南市教育委員会・阿波市教育委員会・板野町教育委員会 協力/徳島市・阿南市・阿波市・板野町

参加お申し込み書 ※太枠の人数は必ず記入してください。

ご希望会場 (○で囲んでください)	阿南 ・ 阿波 ・ 板野 ・ 徳島		
申込者のお名前	様	お電話番号	
ご住所 〒	大 人 () 名 小学生以上 () 名 小学生未満 () 名		

お問い合わせ・お申し込み

最寄りの徳島新聞販売店または、
徳島新聞販売店協同組合まで

☎0120-46-1940

受付時間(平日9:30~17:30)

お申し込み方法

この用紙の左欄に必要事項(お名前・ご住所・お電話番号・参加人数・ご希望の会場)をご記入の上、各会場の応募締切日までに、以下のいずれかの方法でお申し込みください。折り返し、先着順にて聴講券をお送りします。定員超過の場合は、抽選の上ご連絡させていただきますのでご了承ください。

●直接お申し込みの場合

徳島新聞社事業部TEL.088-655-7331(平日9:30~17:30)またはお近くの徳島新聞販売店までご持参ください。もしくは、お電話いただければ、取りに伺います。

●メールの場合

メール本文に左記必要事項をご入力の上、徳島新聞社事業部まで
sgaku1@topics.or.jp

●はがきの場合

左記申し込み書の必要事項をご記入の上、徳島新聞社事業部まで
〒770-8572 徳島新聞社事業部 「家庭教育セミナー」係

●FAXの場合

左記申し込み書の必要事項をご記入の上、このチラシを徳島新聞社事業部まで
FAX:088-626-1885

※託児サービスは付帯しません。※小さいお子様の同伴可ですが、周りの方のご迷惑にならないようにご協力ください。※徳島会場以外は駐車場完備ですが、できるだけお乗り合わせの上、ご集合ください。徳島会場は近隣の有料駐車場にお停めになるか、公共交通機関などをご利用ください。※いただいた個人情報は今回のセミナーと今後の教育関連事業の案内みに使用します。

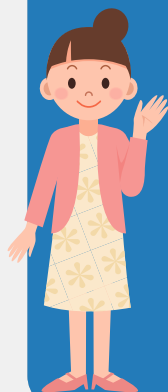


2015年に徳島県教育委員会・徳島新聞社の合同主催で開かれた 徳島県「小1～3年生」の保護者向け家庭教育セミナーの聴講者の声です。

徳島会場

2015年7月1日開催
会場：あわぎんホール

- ▶勉強が楽しくできるヒントが盛りだくさんで、楽しみながら賢くなることが実感できた。
- ▶親としてまめな応援が必要で、すぐに結果を求めないことが大切だと感じた。毎日の生活の中でできる働き掛けがたくさんあるのだと気づいた。
- ▶才能でなく努力を褒める。そして精神的にも強い子どもに、という言葉に勇気をいただいた。同居の義母は才能を褒めるので、そのことには感謝しつつ、母親である私は努力を褒め続けたいと思う。
- ▶子どものSOSに気づくこと、見守っていると伝えることで、子どもも安心して勉強できるのだと思った。仕事であまり時間が取れないが、一緒に学び楽しんでいきたい。



阿南会場

2015年6月19日開催
会場：阿南市立情報文化センター

- ▶生活習慣、学習習慣は親の努力でつくらなければいけないこと。分かっていてもなかなか…という私自身の甘えを見直すいい機会になった。
- ▶家庭での会話が大事ということが印象に残った。会話の中から自然にクイズを出したり、子どもたちの道徳心を育てたりできたらいいなと思った。
- ▶勉強しなさいは必要。ただし、その日の感情で言わないことということに反省させられた。

◆新聞を通して子どもたちに伝えることがあること、新聞から学ぶこともできることがよく理解できた。

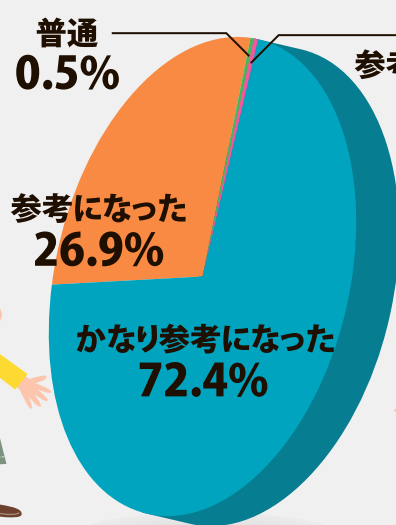
◆自立した人間として、いろいろなことを自ら考え、判断し、表現できる子どもになることが大切だということが分かった。



阿波会場

2015年7月2日開催
会場：アエルワ（阿波市庁舎併設）

- ▶自分からやる気を起こさせるため、口うるさく言わないようにと思っていたが、「勉強しなさい」という言葉は悪くないのだと感じた。
- ▶努力したことを褒めるという点が印象に残った。大きくなってからもそのことを忘れずに努力してくれると思う。
- ▶新聞を読ませたかったが、本人の関心が向かず悩んでいた。まず、知っている漢字のマル付けと親が読ませたい記事で問い掛けをやってみようと思う。
- ▶子どもとの会話が何事にもつながっていて大事なのだと分かった。会話の中からクイズを出すことを取り入れたい。
- ▶家庭でのルール（時間）を決めるという話が心に残った。



聴講者の感想



板野会場

2015年6月18日開催
会場：徳島県立総合教育センター

- ▶家庭での復習が大切ということなので、家族で頑張りたいと思った。リビングに本棚を作ろうと思う。
- ▶すごく楽しい時間を過ごせた。親の忍耐力という言葉が一番印象に残った。子どもと一緒に頑張ります！
- ▶学習指導要領の説明を伺えて、子どもを見ていくポイントが分かった。
- ▶普段の会話の中でコミュニケーションを取りながら価値観を伝えたり共有したりすることの大切さを再確認した。
- ▶毎日でなくてもいいと思うと気持ちが楽になる。学校のことを聞きたい方法を教えてもらった。
- ▶何回聞いてもためになる。少しずつでも続けたい。取りあえず家の中の環境を整えたい。

